

第59回北日本産科婦人科学会 総会・学術講演会

平成23年9月24～25日にかけて秋田キャッスルホテル(秋田)にて第59回北日本産科婦人科学会 総会・学術講演会が開催されました。

当会は当医局出身であります秋田大学大学院産婦人科学講座 寺田幸弘教授を会長とし、行われました。当初9月の3～4に行われる予定でしたが、東日本大震災の影響により日本産婦人科学会学術講演会が8月下旬に延期されたことを受け、本会も9月の24～25へと延期されての開催でした。にもかかわらず、周産期、婦人科腫瘍、不妊生殖女性医学の分野で計103題もの一般演題が発表され、各会場にて活発なディスカッションが行われていました。

当大学からはワークショップ1題、一般演題8題の発表がなされ、また、2名の先生が座長を務められました。

特にワークショップでは、伊藤潔 准教授が産婦人科ガイドライン産婦人科外来編の解説として、「子宮内膜ポリープの診断法および取り扱い」と題し、世界的にもガイドラインの無い子宮内膜ポリープについて、膨大な過去の文献から、また実際の臨床の現場として非常に丁寧に、分かりやすく解説され非常に好評でありました。

一般演題では若手の先生を中心に発表が続き、各会場で時間をオーバーするなど非常に活発な討論が行われました。

